

# 令和7年度自動運転EVバス 実証運行事業について

<b>1. 令和7年度事業報告</b>	<b>1</b>
<b>2. 関係者・一般試乗会について</b>	<b>2</b>
(1) 関係者・一般試乗会アンケート結果	3
<b>3. 他市における自動運転バスの衝突事故について</b>	<b>7</b>
<b>4. 今後の自動運転EVバス実装に向けた取組みについて</b>	
(1) 令和7年度事業について	8
(2) 令和8年度以降の自動運転社会実装推進事業について	9

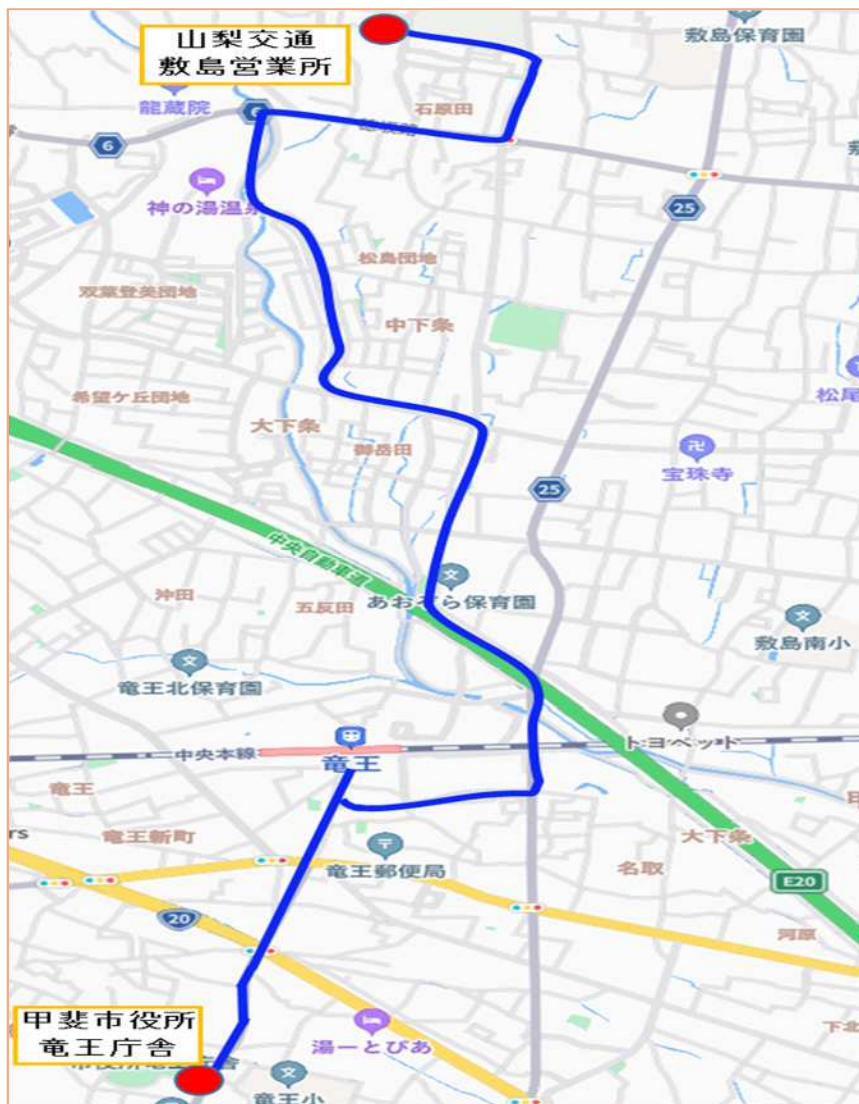
# 1. 令和7年度事業報告

- ①山梨大学医学部附属病院線(北部)  
山梨交通敷島営業所から甲斐市役所竜王庁舎(4.8km)  
チューニング、マッピング、関係者・一般試乗会
- ②山梨大学医学部附属病院線(南部) (未執行)  
甲斐市役所竜王庁舎から山梨大学医学部附属病院(7.7km)  
チューニング、マッピング、関係者・一般試乗会
- ③車両改造 (未執行)  
信号認識機能及び路上駐車車両の回避機能の追加
- ④車両ラッピング (未執行)  
広告を含む全面ラッピング
- ⑤二次架装 (未執行)  
方向幕、音声合成装置等の設置
- ⑥レベル4実装に向けた課題への対応 (未執行)  
走行ルートの検証 など

## 2. 関係者・一般試乗会について

山梨大学医学部附属病院線(北部)

山梨交通敷島営業所から甲斐市役所竜王庁舎(4.8km)



【山梨大学医学部附属病院線(北部)】

令和7年7月12日から準備運行として  
チューニング、マッピングを開始。

自動運転レベル2で関係者・一般試乗会を実施。

関係者試乗会: 令和7年7月29日から30日

参加者 51名

一般試乗会: 令和7年7月31日から8月4日

参加者 170名

合計 221名が乗車。

## 2-(1). 関係者・一般試乗会 アンケート結果

### 実施概要

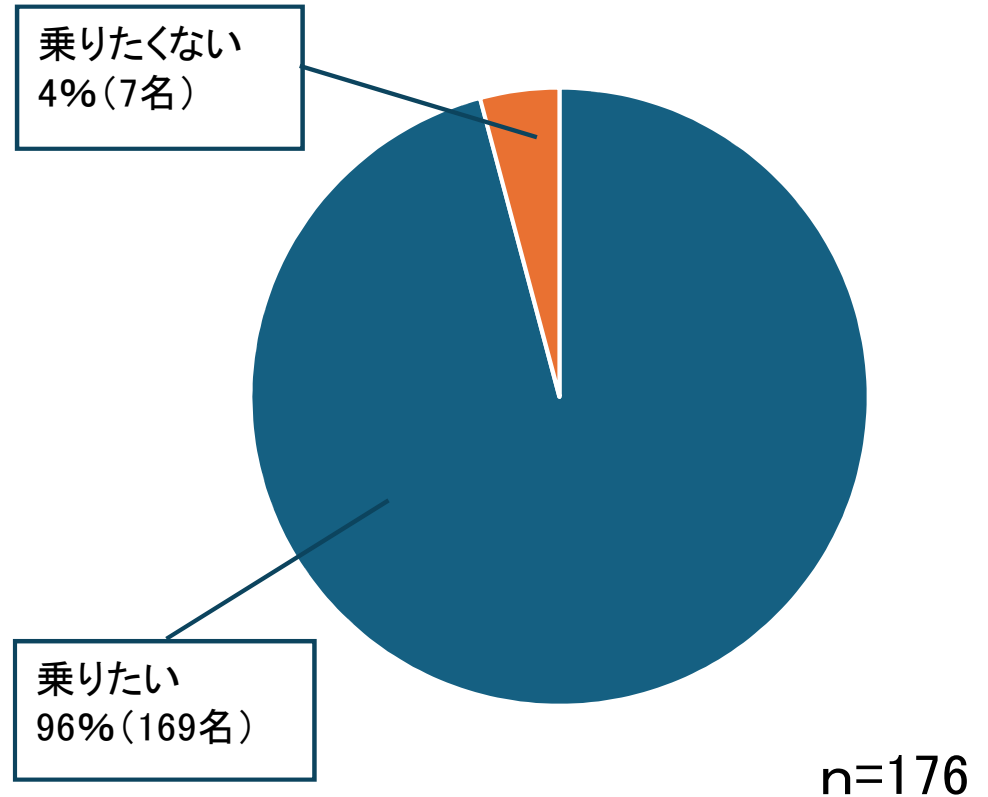
項目	内容
対象者	自動運転EVバス試乗会参加者
アンケート方法	アンケート用紙、QRコード
実施期間	7月29日から30日(関係者試乗会) 7月31日から8月4日(一般試乗会)
回答人数	176名
アンケート回答率	79.6% ※176名/221名(一般参加者170名+関係者51名)

## ①年齢

年齢	人数(%)
10代未満	21名(12%)
10代	10名(6%)
20代	6名(3%)
30代	28名(16%)
40代	36名(20%)
50代	22名(13%)
60代	23名(13%)
70代	27名(15%)
80代	3名(2%)
計	176名

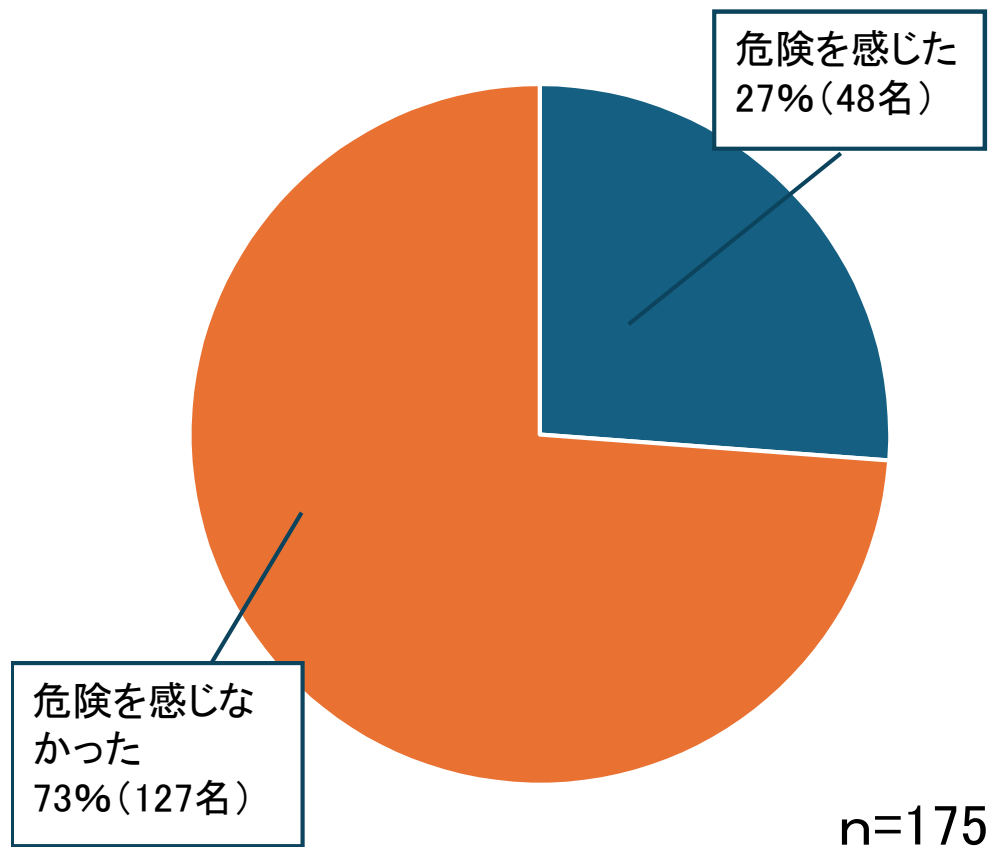
・30代から40代を中心に幅広い年代の方が試乗会に参加。

## ②自動運転EVバスに再度乗りたいと思いますか？



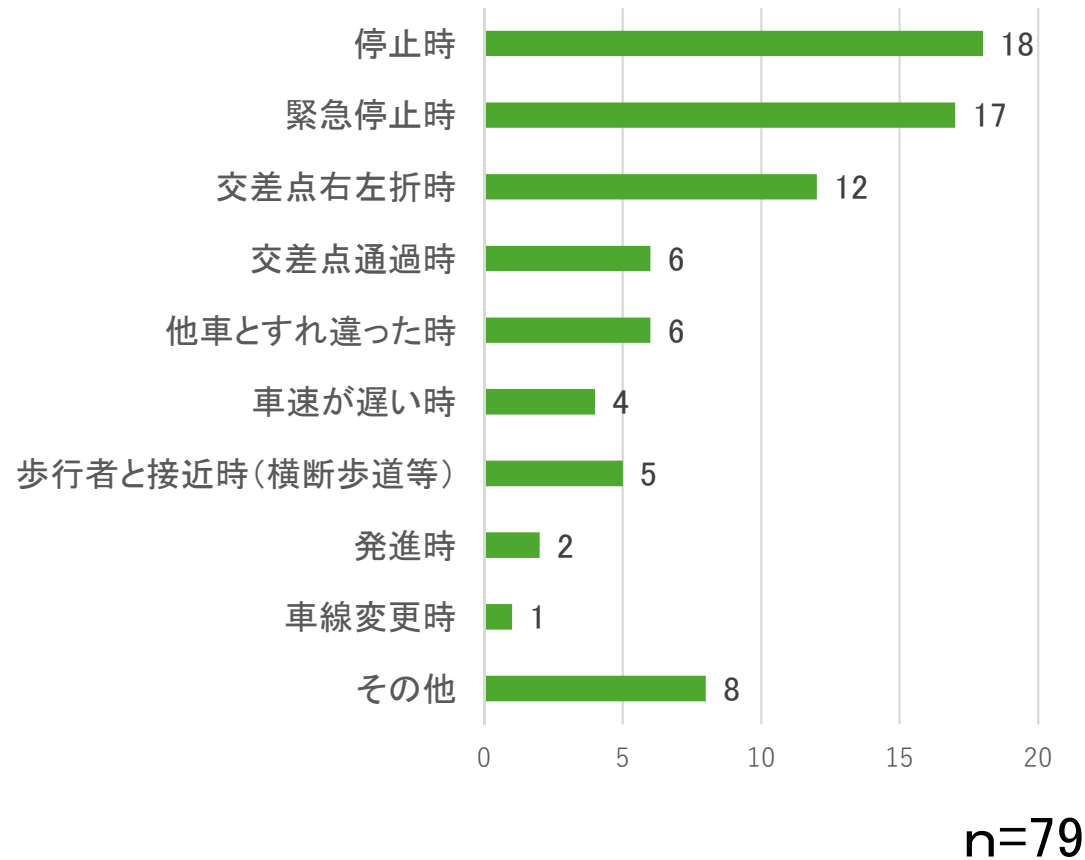
・96%(169名)が自動運転EVバスに「再度乗りたい」と好意的な結果となった。

③ 普通の車両と比較して、乗車中に危険を感じる場面はありましたか。



・「走行中危険を感じた」と回答した方が、27% (48名) 「危険を感じなかった」と回答した方が73% (127名) であり、自動運転の安全性に理解を得られる結果となった。

④ 危険を感じた場面を教えてください。(複数回答可)



・自動運転の性質上、停車時に強いブレーキがかかることがあるため、「緊急停止時」、「停止時」に危険を感じたと回答した方が44% (35名) と高い結果となった。

## ⑤その他(意見・感想等)

・振動も少なく、乗り心地は良いが、急ブレーキの 때가少し不安。ありがとうございました。

・採算が取りにくい路線で普及すれば良いと感じました。本日はありがとうございました。

・思ったより出発も停止もスムーズでした。このまま進化して左折右折もスムーズになると良いと思います。

・乗りこちが良かった。速度があまり出ないので、渋滞の心配があった。

・日本のせせこましい交通環境にここまで対応されており、すばらしいと思う。赤信号などで停止するときのブレーキがやや過大?になることがあった。

・左側の施設から急に出てくる車には、よく対応できている。

・ブレーキ制御をもう少し自然に行えるようになるとより安心して乗れると思いました。ありがとうございました。

・すぐリラックスして乗車できたので、早く実用化を行い、甲斐市の交通弱者の方達を助けて欲しいです。

・試乗に参加させていただきありがとうございました。最新技術の進化を親子で体験できて、良い経験となりました。

・バスに乗車し説明して下さった方がわかりやすく、とても楽しかったです。運転手の方もフレンドリーで、とても楽しい試乗でした。ありがとうございました。

・停車、発車時のかくつとする感が気になった。

・これからますます進化することに期待します。心配なのは人間のイレギュラーな動きだと思います。ありがとうございました。貴重な体験でした。

・予定外の動きの対応がぎこちなくやはり、人の運転との違いを感じた。

・試乗に参加させていただきありがとうございました。最新技術の進化を親子で体験できて、良い経験となりました。

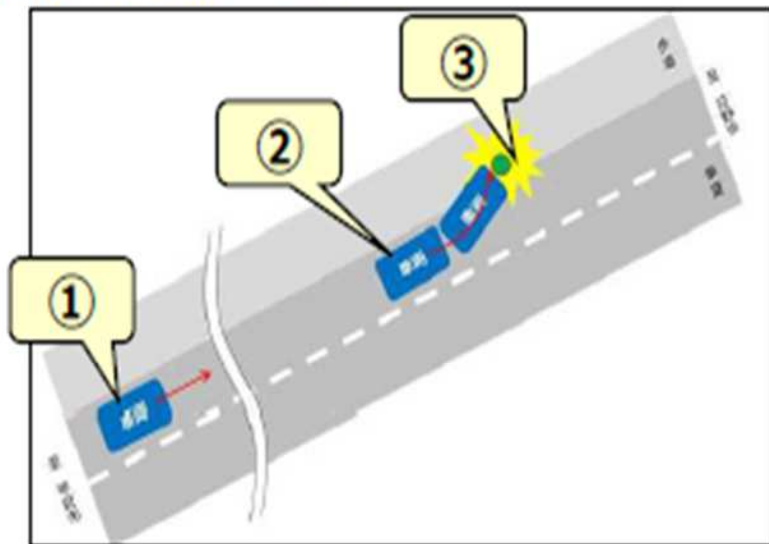
・貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。交差点等ブレーキが若干きつい感じもありましたが、その他はとても快適でした。

・実証運転には周辺の協力、理解が必要だと感じました。運行自体は、安心だと思いました。

### 3. 他市における自動運転バスの衝突事故について

#### 【事故発生状況】

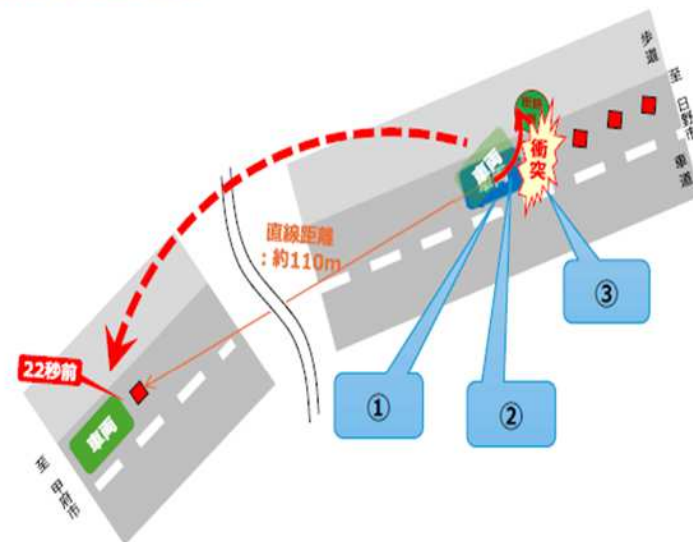
##### ■ 事故発生状況イメージ図



- 高尾駅北口のバス停を出発し、国道20号（甲州街道）を
- ① 自動運転で20～25km/h程度の速度で走行中
- ② 20km/h程度で走行中に、急に左側に車両が旋回
- ③ 10km/h程度の速度で街路樹に衝突

#### 八王子市（高尾地区）における自動運転バスの衝突事故

##### 【技術面における事故原因】



- ① 古い位置情報の誤使用
- ② システムによる急なハンドルの動き
- ③ 衝突回避機能の未作動

※事故後の調査により、この不備は開発段階から存在していたことが判明し、システムのログ解析やシミュレーション試験によって再現もされている

※都庁総合ホームページ「八王子市(高尾地区)における自動運転バスの事故について」

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/11/2025111004>

## 4. 今後の自動運転EVバス実装に向けた取組みについて

### (1) 令和7年度事業について

事故発生以降、安全を担保した運行について、受託事業者であるBOLDLY(株)と協議を重ね、その結果、令和7年12月22日付けで次の理由のとおり、令和7年度事業を辞退したいとの申し出がある。

- ①同車両(自動運転システム)による事故が発生し、安全性の観点から慎重な対応が必要になったため。
- ②車両(自動運転システム)の改修及び、安全性向上に向けた対応を検討したが、必要な改修及び、完了時期の見通しが立たず、今年度事業期間内での対応が困難であるため。
- ③代替案の検討も行ったが、今年度内に十分な事業期間を確保できず、品質・安全性を担保した形で事業を実施することが困難であるため。

## (2) 令和8年度以降の自動運転社会実装推進事業について

BOLDLY(株)からの令和7年度事業の辞退を受け、アルファバスでの自動運転事業を休止せざるを得ない状況となった。現在、令和8年度以降の事業継続等について協議を行っている。引き続き協議を重ね、国とも協議を行いながら、事業継続について慎重に検討していく。

### 【検討(案)】

- ① 自動運転事業の休止によっては、アルファバスをEVバスとして活用する。
- ② 別車両を用いて、自動運転事業を継続する。
- ③ 今後の自動運転の普及や発展を見据え、ランニングコストの軽減等を含め、持続可能な事業化の検討を行う。